

2021年度 日本動物行動学会日高賞受賞者（2021年9月23日受賞）

海野 和男氏

海野氏は日本における昆虫写真の草分け的な存在ともいえる写真家で、世界中の多様な昆虫の美しい写真を書籍・写真集・SNSなどで世に送り出してしてきた。著作は150以上にのぼり、近年の出版物としては、「虫の目になってみた：たのしい昆虫行動学入門」

（2016年）、「自然のだまし絵 昆虫の擬態：進化が生んだ驚異の姿」（2015年）、「海野和男の昆虫撮影テクニック 増補改訂版」（2014年）などがある。これらはいずれにおいても、独自の視点で昆虫の行動と生態を切り取った写真と行動観察の記録が動物行動学の魅力を表現するものになっており、また、動物行動学の研究者にとっても役に立つ多くの貴重な情報を含んだものにもなっている。

これらの一連の業績・活動から、海野氏が写真家という立場から日本の動物行動学の普及など社会との橋渡しにおいて果たした役割は大きいと評価し、海野氏が日高賞を受賞するにふさわしいと判断した。